

TOYOMI HOSHINA

保科豊巳展

— 出来事としての絵画、仕掛けの構造 —

2021年11月3日(水)～12月12日(日)

東御市梅野記念絵画館・ふれあい館

開館時間 = 9:30～17:00(最終入場16:30)

休館日 = 月曜日(祝日の場合は翌火曜日)

入館料 = 無料 ※入館料は、共催の保科豊巳後援会が負担します。

共催 = 東御市・保科豊巳後援会

# TOYOMI HOSHINA

## 保科豊巳展

— 出来事としての絵画、仕掛けの構造 —

1980年東京芸術大学の学生時代にパリ青年ビエンナーレ(パリ市近代美術館)に参加出品しこの時のインスタレーション作品でデビュー作「間」から2020年制作の作品「黒い光」「雨の降る家」までの平面作品マーケット作品を中心に50点ほどの作品を展示します。私の平面はインスタレーションを製作するために貯めておいたスケッチノートから絵画作品に起こし、和紙、綿布の上に記録した作品です。私の平面は全てインスタレーション制作の前にスケッチします。私の多くのインスタレーション作品は身体にかかわる「仕掛け」としての作品です、また「黒い光」は構造としての絵画でもあります。2000年ごろからは記憶や出会った衝撃からの作品として制作されます。9.11の同時テロに出会った衝撃、福島原発の体験、そういえば1980年の明神池でのパフォーマンスも不思議な体験でした。ポストモダン時代の私のデビュー作といえます、今でもこのコンセプトは変わっていません。40年経ってまたこの池の縁で展示できることは初期のとても思い出深い出来事を回想しますし、また私にとってとても不思議な「場」に思えてきます。

オープニングレセプション

11月3日(水) 10:00~

講演: 保科豊巳(東京芸術大学名誉教授)



氷上の痕跡1980



雨の降る家、2020



私はもう何も聞こえない



私の孤独を邪魔するな



あなたには何も見えない。2020

[www.umenokinen.com](http://www.umenokinen.com)

■ 鉄道等の場合  
しなの鉄道・田中駅から  
タクシーで15分。

■ お車の場合  
上信越道・東部湯の丸IC  
から約20分。 [Google Map▶](#)



東御市梅野記念絵画館・ふれあい館  
〒389-0406 長野県東御市八重原935-1 芸術むら公園  
TEL: 0268-61-6161 FAX: 0268-61-6162

